

2018年5月18日

日・ニュージーランド外相会談
太平洋地域における協力に関する共同プレスリリース【仮訳】

1. 2018年5月18日、東京において、河野太郎日本国外務大臣とウィンストン・ピーターズ・ニュージーランド外務大臣は、日本とニュージーランドの戦略的な協力パートナーシップの基礎を成す極めて良好な二国間関係を反映する形で、建設的な会談を行った。
2. 本会談は第8回太平洋・島サミット（PALM8）に先立って行われた。ピーターズ外務大臣は、PALM8を、太平洋地域の安定、発展及び繁栄に対する日本のコミットメントの表れとして歓迎した。両外相は、PALMプロセスにおいて緊密に協力することへのコミットメントを確認した。
3. 両外相は、インド太平洋地域等における自由で、開かれ、安定し、繁栄し及びルールに基づく国際秩序を確保することに対する共通のコミットメントを表明した。両外相は、平和、安定、繁栄及び共通の価値と利益を有するパートナーとしての共同の目標を促進するために協力する決意を表明した。この文脈において、両外相は、両国がそれぞれの政策、すなわち、日本の「自由で開かれたインド太平洋戦略」、ニュージーランドの「パシフィック・リセット」の下で、太平洋島嶼国と連携した形で両国が一層深く関与していくことを歓迎した。
4. 太平洋島嶼国が、海洋安全保障及び海上の安全、気候変動、環境、防災及び持続可能な開発等の分野において複雑かつ変化する課題に直面していることを認識し、両外相は、開発援助を含めた同地域における協調及び協力を強化することへの強いコミットメントを確認した。このために、両外相は、太平洋協議を通じたものを含め、二国間関係の全ての側面における協議及び意思疎通を活性化させることを約束した。